

福祉分野学ぶ県内5大学

認知症啓発へ
学生団体発足

岡山県内で福祉分野 大（総社市窪木）で開
を学ぶ5大学の学生が

認知症について啓発す
る団体「認知症オレン
ジパートナー」を発足
させた。関心を高め、
誰もがその人らしく過
ごせる社会を目指そう
と大学の垣根を越えて
連携。初の取り組みと
して3日、若年性認知
症の当事者2人を招い
たシンポジウムを具立
た。

当事者招き あす初のシンポ



タイムスケジュールなどを確認するオレンジ
パートナーの学生たち＝2月28日

当日は、30代で診断
され、相談窓口「おれ
んじドア」を開設する
丹野智文さん＝仙台
市＝と、カメラマン
を続ける傍ら啓発に
取り組む下坂厚さん
＝京都市＝が対談。診
断前後の生活の変化な
どについて話すほか、
「認知症の人と家族の
会」県支部のメンバー
も加わり、来場者と意
見を交わす座談会も行
う。

2月28日はメンバー
が会場でタイムスケジ
ュールなどを確認し
た。「今も自分らしく
生きる2人から学ぶこ
とはいはず。気軽に
参加して当事者の声を
聞いてほしい」と代表
の川崎医療福祉大医療
福祉学部4年石原舞依
さん(22)。今後は認知
症カフェや子どもが参
加できるイベントも開
大講堂で午後2時開
始。入場無料。予約
不要。問い合わせは
同団体のツイッター
やインスタグラム、
事務局の堀川涼子・美
作大生活科学部教授
(090-6832-
4156)。(山本貴之)